

34  
下資料  
聖徒伝 193

# 偽善を砕かれ 真実に立とう

イザヤ書66章

世の終わりの裁きと回復

# アウトライン

## 0. イントロダクション

I. イスラエルへの宣告 66:1~14

II. 全人類への宣告 66:15~24

## III. まとめと適用

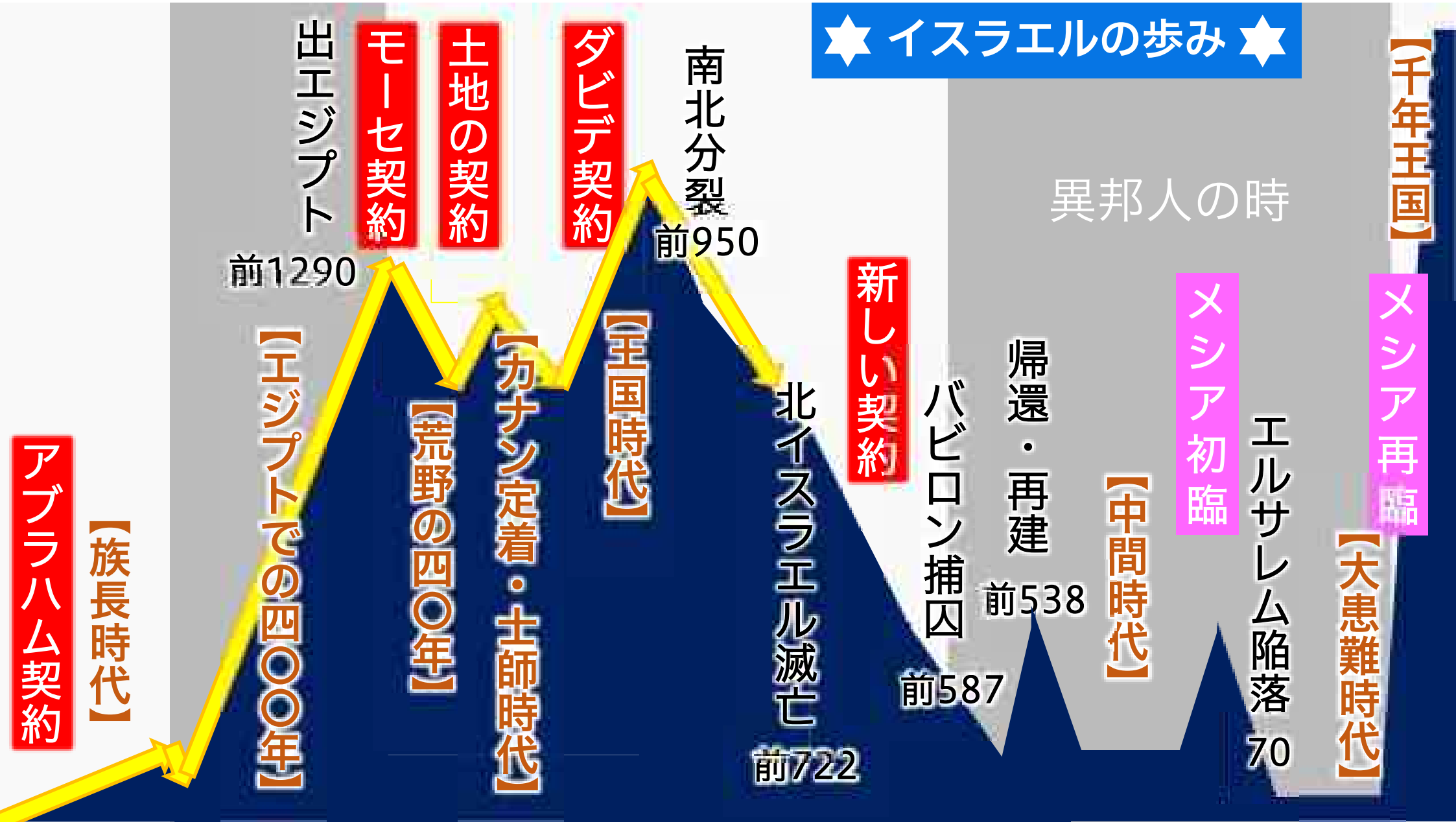
偽善を打ち砕かれて

真実に立とう



オリーブ山の小道と神殿の丘

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

前1290

【エジプトでの四〇〇年】

出エジプト

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

前722

北イスラエル滅亡

新しい契約

前587

バビロン捕囚

前538

帰還・再建

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落 70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

# イザヤ書全体の構成

前半

■ 罪の告発・間近に迫った裁きの宣告 (1～39章)

回復 ■ バビロン捕囚からの解放 (40～48章)

後半

最終的  
回復 救い ■ メシアによる罪の贖い・救い (49～57章)

最終的  
回復 神の王国 ■ メシアによる最終的裁き・王国の建設 (58～66章)

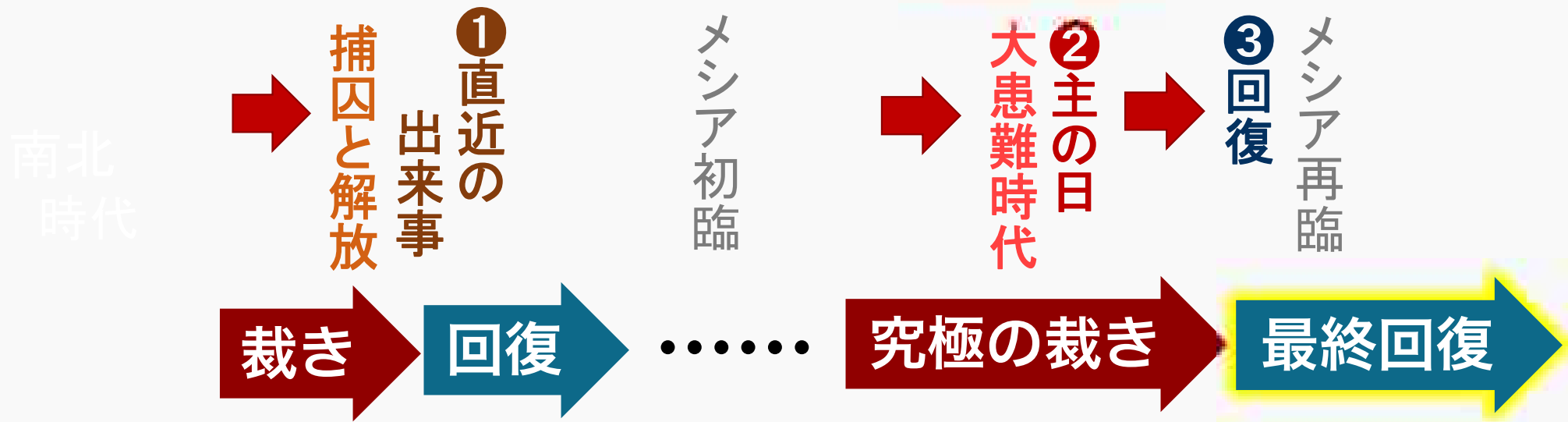
## イスラエルが受けた罪の代価 58～66章

58～59章	イスラエルの国家的罪
60章	イスラエルの将来・神の王国
61章	神の僕・メシアによる王国
62章	イスラエルとエルサレムの救い
63～64章	残れる者の悔い改めの祈り
65章	メシアの再臨
66章	イスラエルの回復・総まとめ



# 預言書の構成





【パラダイス】



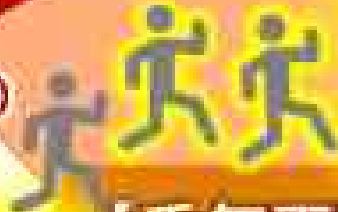
【天上の礼拝】

神の王国



【新天新地】

キリストの再臨



【千年王国】

白い御座の裁き



【ゲヘナ(地獄)】



教会の携挙



聖霊降臨



【教会時代】

【大患難時代】



【シエオール(陰府)】





# 大患難時代の人々の運命

	イスラエル	異邦人
信仰者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 14万4千人は、主に守られ世界宣教に遣わされる。</li><li>・ ボツラ(ペトラ)に逃れ、大迫害からも守られる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 災厄や迫害で死ぬ者も大勢いる</li><li>・ 死んだ者は復活の体を与えられ、携拳された人々と天で合流</li><li>・ 生き残りは、神の王国へ。</li></ul>
不信仰者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 災厄と反キリストによる大迫害によって死ぬ。→よみ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 災厄によって死ぬ。→よみ</li><li>・ 生き残りは、→よみ</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2/3は、死ぬ。</li><li>・ 1/3が生存、民族的回心へ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2/3は、死ぬ。</li><li>・ 1/3は、生き残り、裁かれる。 →羊とヤギの裁き</li></ul>



**I. イスラエルへの宣告** イザヤ書66章1～14節

エルサレムの城壁と旧市街

## 宣告 天が王座なる方 イザヤ66:1

【主】はこう言われる。「天はわたしの王座、地はわたしの足台。あなたがたがわたしのために建てる家は、いったいどこにあるのか。わたしの安息の場は、いったいどこにあるのか。」

■ どんなに荘厳な神殿を建てたとしても、人が作った物に、神は住まわれない。

\* 1～4節の言及は、主に認められない  
大患難時代の神殿(第三神殿)

➔ 形ばかりの信仰の回復・偽善の象徴



究極的偽善

## 宣告 主の目に適う者 イザヤ66:2

これらすべては、わたしの手が造った。それで、これらすべては存在するのだ。——

【主】のことば——わたしが目を留める者、それは、貧しい者、霊の砕かれた者、わたしのことばにおののく者だ。

「神へのいけにえは砕かれた霊。打たれ砕かれた心。神よあなたはそれを蔑まれません。詩篇 51:17 (ダビデの悔い改めの祈り)」

「心(霊)の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。マタイ 5:3」



心砕かれる  
貧しい者が幸い

## 宣告 偽善者 イザヤ66:3

牛を屠る者が、人を打ち殺す者\*。羊をいけにえにする者が、犬の首を折る者\*。穀物のささげ物を献げる者が、豚の血を献げる者\*。乳香を記念として献げる者が、偶像をたたえる者\*。実に彼らは自分の道を選び、そのたましいは忌まわしいものを喜ぶ。

\* 人身供養、穢れた犠牲。➡偶像礼拝。

■ 表面的には信仰者に見える、偽善者の姿。

➡ その実態は、利己的で悪魔的



## 宣告 背教の偽善者の末路 イザヤ66:4

「わたしも彼らを厳しく扱うことを選び、彼らに恐怖をもたらす。それは、わたしが呼んでもだれも答えず、わたしが語りかけても聞かず、わたしの目に悪であることを行い、わたしの喜ばないことを選んだからだ」

- 主の御言葉の知識を持ちながら、主を偽り、立ち返ることのなかった、その罪の重さ。
- 大患難時代は、イスラエルの不信仰者と真の信仰者が厳格に二分される時代。



偽善者を待つ  
究極の刈り取り

## 宣告 不信仰者の嘲り イザヤ66:5

主のことばにおののく者たち\*よ、【主】のことばを聞け。「あなたがたを憎み、わたしの名のゆえにあなたがたを押し除ける、あなたがたの同胞は言った。『【主】に栄光を現させよ。おまえたちの楽しみを見てやろう\*』と。しかし、彼らは恥を見る。」

\*イスラエルの残れる信仰者\*への嘲りの言葉

➡究極が十字架上のメシアへの言葉

「神のお気に入りなら、今、救い出してもらえ。」

『わたしは神の子だ』と言っているのだから」

マタイ27:43



偽善者に嘲られる  
信仰者

## 回復 主の御声 イザヤ66:6~7

都から騒ぎが、宮から声が\*聞こえる。敵に報復する【主】の御声が。

「彼女は産みの苦しみが来る前に産み、陣痛が来る前に男の子を産み落とす。」

\*反キリストの軍勢がエルサレムを壊滅

➔ 信仰者はボツラに脱出済み

■ 再臨のメシアが、明暗を分ける。

➔ 背教者・偽善者には、厳しい裁き

➔ 残れる信仰者には、解放と喜び



裁きと救いは  
同時に来る



## 回復 主の日の裁きと回復 イザヤ66:8

だれが、このようなことを聞き、だれが、これらのことを見たか。地は一日の苦しみで産み出されるだろうか。国は一瞬にして生まれるだろうか。ところがシオンは、産みの苦しみと同時に子たちを産む\*。

\*再臨のメシアは、裁きと回復を同時に!!

■再臨の主イエスは、瞬く間に敵を滅ぼし、信仰者を救い出し、世界を回復させる。

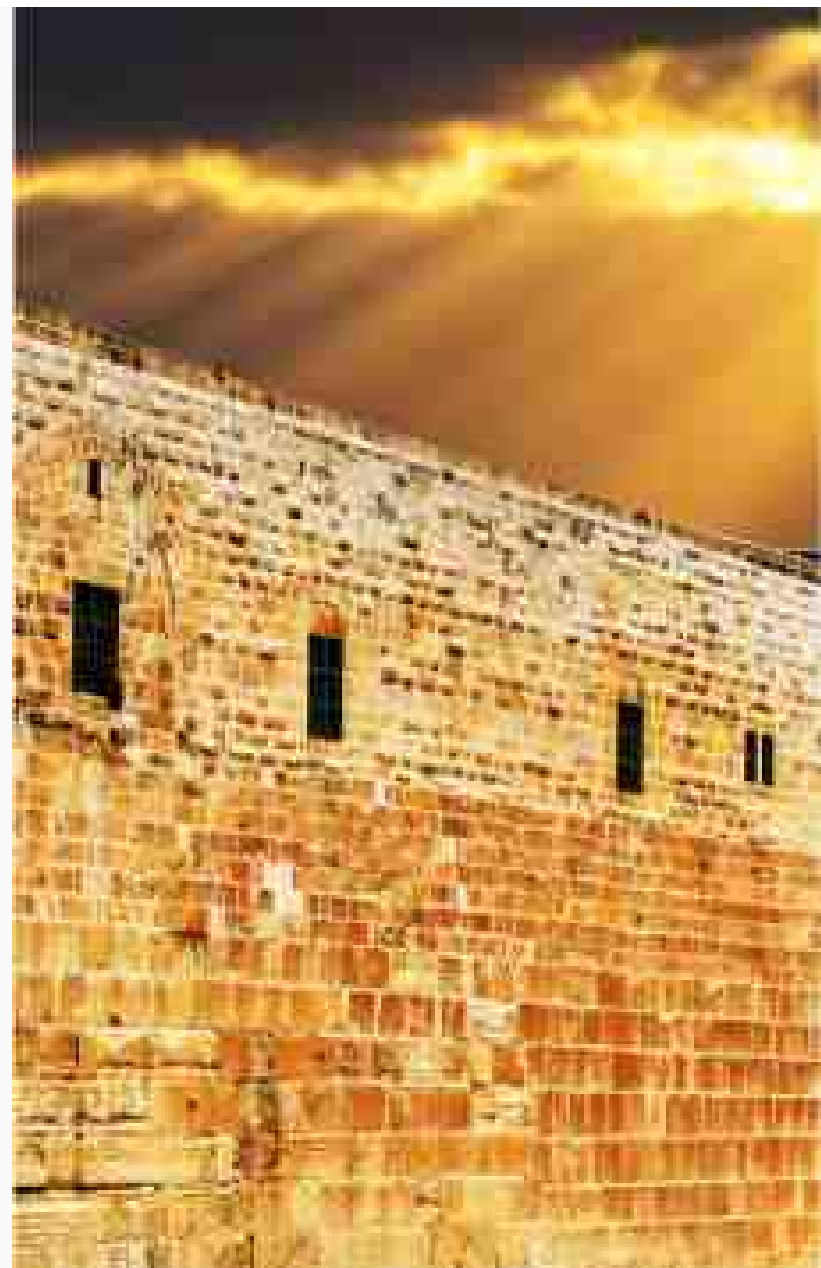


## 回復 いのちの神 イザヤ66:9

「わたしが胎を開きながら、産ませないだろうか。——【主】は言われる——わたしは産ませる者なのに、胎を閉ざすだろうか。——あなたの神は仰せられる。」

■ 時が来れば、イスラエルは新生する。

➔ レムナントは民族的に回心し、  
栄光の王・メシアが再臨される。

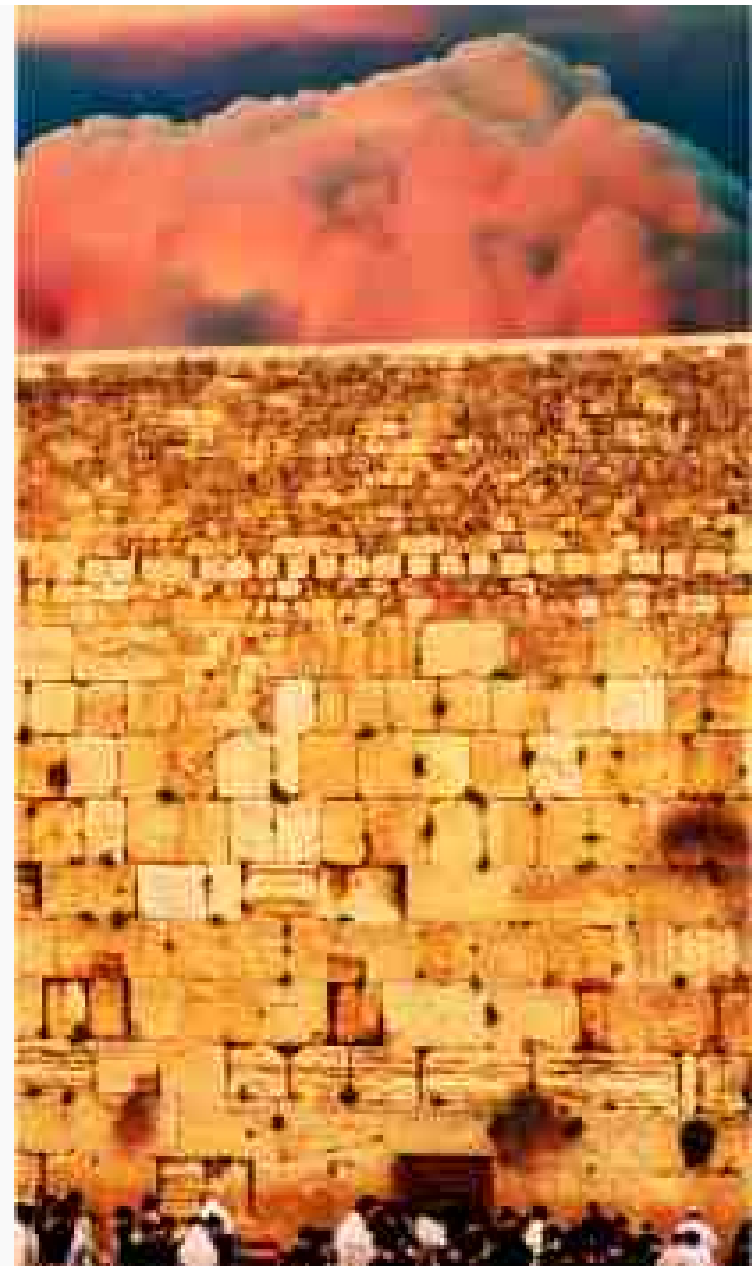


## 回復 エルサレムの喜び イザヤ66:10~11

エルサレム\*とともに喜び。すべて彼女\*を愛する者よ、彼女とともに楽しめ。すべて彼女のために悲しむ者よ、彼女とともに喜び喜び。

あなたが彼女の慰めの乳房から飲んで満ち足り、その豊かな乳房から吸って喜びを得るために。

- 千年王国の都となる新しいエルサレムで、イスラエルは、豊かな恵みに満たされる。



## 回復 エルサレムの繁栄 イザヤ66:12

【主】はこう言われる。「見よ。わたしは川のように繁栄を彼女に与え、あふれる流れのように国々の栄光を与える。あなたがたは乳を飲み、脇に抱かれ、膝の上でかわいがられる」

- エルサレムからの湧き水が、大河となって流れ出る(ゼカ14:8、エゼ47:8~10)
- 霊的祝福も、メシア →エルサレム  
→イスラエル →全世界へ流れ出る。



## 回復 主の慰め イザヤ66:13~14

母に慰められる者のように、わたしはあなたがたを慰める。エルサレムであなたがたは慰められる。

あなたがたがこれを見るとき、その心は喜び、骨は若草のように生き返る。【主】の手はそのしもべたちに知られる。その憤りは敵たちに。」

- イスラエルの残れる信仰者は慰められ、背教者は主の敵とされ、憤りを受ける。





## II. 全人類への宣告

イザヤ書66章15～24節

神殿の丘とオリーブ山をのぞむ

## 宣告 裁き主なるメシア イザヤ66:15~16

見よ。【主】は火を伴って進んで来られる。その戦車はつむじ風のように。主は激しい憤りをもって、怒りを下し、火の炎をもって、叱責を下す。

実に、【主】は火をもってさばき、その剣で、すべての肉なる者をさばく。【主】に刺し殺された者は多い。

「この方の口からは、諸国の民を打つために鋭い剣が出ていた。鉄の杖で彼らを牧するのは、この方である。また、全能者なる神の激しい憤りのぶどうの踏み場を踏まれるのは、この方である。

黙19:15」



全人類の裁き

## 宣告 メシアによる聖絶 イザヤ66:17

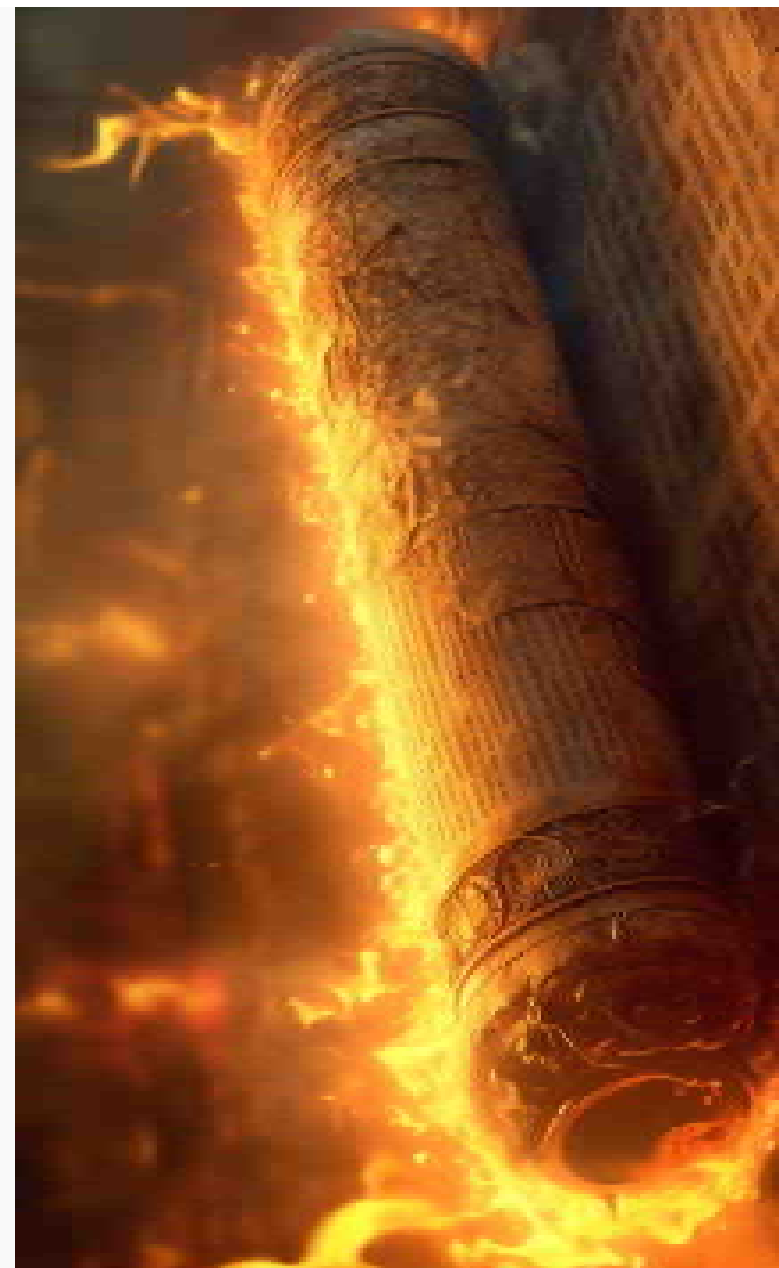
「自分の身を聖別し、身をきよめて園に行き、その中にある一つのもの\*に従って、豚の肉、忌むべき物、ねずみを食らう者たち\*は、みなともに絶ち滅ぼされる。——

【主】のことば。」

\*メシアの裁きの根拠 …命の書か？

\*すべての偶像礼拝者たち

■主イエスを拒んだすべての民は裁かれる。





## 回復 残れる異邦人 イザヤ66:18

「わたしは彼ら\*のわざと意思を知っている。わたしはすべての国々と種族\*を集めに来る。彼らは来て、わたしの栄光を見る。」

\*異邦人の残れる信仰者たち

➔大患難時代にユダヤ人を助けた羊の民

■悔い改めた異邦人は、主の栄光に与る。




## 回復 メシアの来臨 イザヤ66:19

わたしは彼らの中にしるしを置き、彼らのうちの逃れた者たちを諸国に遣わす。すなわち、タルシシュ\*、プル、弓を引く者ルデ\*、トバル\*、ヤワン\*、そして、わたしのうわさを聞いたことも、わたしの栄光\*を見たこともない遠い島々に。彼らはわたしの栄光\*を諸国の民に告げ知らせる。

\*スペイン？ \*エチオピア？

\*トルコ？ ロシア？ \*ギリシャ？

■世界中にメシアの来臨\*が告げ知らされる。

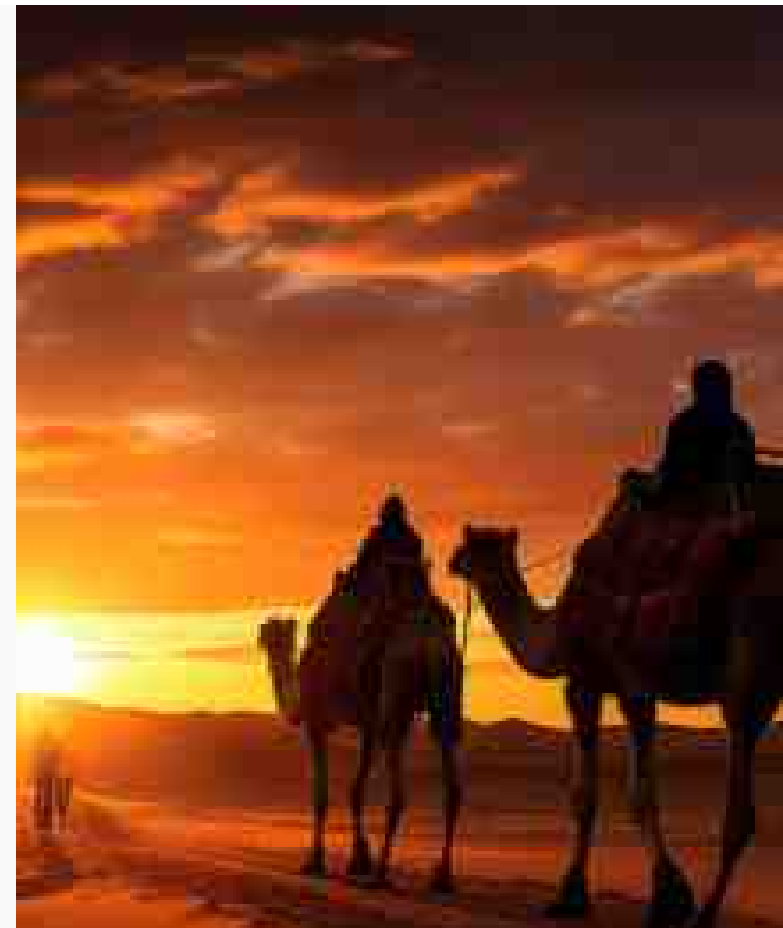


東西南北に  
派遣される  
異邦人の信仰者

## 回復 異邦人のささげもの イザヤ66:20

彼らはすべての国々から、あなたがたの同胞をみな【主】への贈り物として、馬、車、輿、らば、らくだに乗せて、わたしの聖なる山エルサレムに連れて来る——【主】は言われる——。それはちょうど、イスラエルの子らが穀物のささげ物をきよい器に入れて、【主】の宮に携えて来るのと同じである。

- 世界中の異邦人が、王なるイエスへの贈り物を携え、エルサレムに上ってくる。



異邦人も礼拝の  
恵みに与る

## 回復 異邦人の祭司 イザヤ66:21

わたしは彼らの中からも、ある者を選んで祭司とし、レビ人とする\*——【主】は言われる。

\*異邦人から、祭司、レビとなる者が!!

■この時代の祭司、レビは皆、エルサレムに住まい、主イエスの神殿で奉仕する。

➔異邦人の祭司、レビもエルサレムに!!

最高の栄誉を賜る異邦人



## 回復 新天新地 イザヤ66:22

わたしが造る新しい天と新しい地が、わたしの前にいつまでも続くのと同じように、  
——【主】のことば——あなたがたの子孫とあなたがたの名もいつまでも続く。

- 新天新地のエルサレムには、  
十二の門に、イスラエル十二部族の名が、  
十二の土台石に、十二使徒の名が刻印。
- 新天新地のすべての住民は、  
命の書に永遠にその名を記された者たち。



チラ見せ!!  
新天新地の  
永遠の祝福

## 回復 千年王国の礼拝 イザヤ66:23~24


新月の祭りごとに、安息日ごとに\*、すべての肉なる者がわたしの前に来て礼拝する。——

【主】は言われる——

彼らは出て行って、わたしに背いた者たちの屍\*を見る。そのうじ虫は死なず、その火も消えず、それはすべての肉なる者の嫌悪の的となる。」

\*千年王国の律法に基づく祝祭

\*千年王国では、バビロンとエドムの地は、荒廃したまま残される。(イザ34:8他)



イザヤ書の最後は  
不信仰者への  
滅びの警告



### Ⅲ. まとめと適用

偽善を打ち砕かれて、真実に立とう

オリーブ山からのぞむ神殿の丘

## 千年王国でも告げられ続ける、滅びの警告

【バビロンに残る廃墟・イザヤ13:20～22】

そこには永久に住む者もなく、代々にわたり、住みつく者もない。アラビア人もそこには天幕を張らず、牧者たちもそこに群れを伏させない。

そこには荒野の獣が伏し、彼らの家々には、みみずくがあふれる。そこには、だちょうも住み、雄やぎがそこで飛び跳ねる。

山犬はその砦で、ジャッカルは豪華な宮殿でほえ交わす。その時が来るのは近く、その日はもう延ばされることはない。



## 千年王国でも告げられ続ける、滅びの警告

### 【エドムに残る廃墟・イザヤ34:8～13】

それは【主】の復讐の日であり、シオンの訴えのために仇を返す年だからだ。

エドムの川はピッチに、その土は硫黄に変わる。その地は燃えるピッチになる。それは夜も昼も消えず、その煙はいつまでも立ち上る。そこは代々にわたって廃墟となり、もうそこを通る者はだれもいない。ふくろうと針ねずみがそこをわがものとし、みみずくと鳥がそこに住む。主はその上に茫漠の測り縄を張り、空虚の重りを下げる。

そのおもだった人たちで、王権を宣言する者は、そこにはいない。すべての首長たちもいなくなる。

その宮殿には茨が生え、要塞には、いらくさやあざみが生え、ジャッカルに住みか、だちょうの住む所となる。

## 千年王国で裁きの痕跡が残され続ける理由

- 大患難時代を生きのびた人々からは、再び子孫が増え広がる。
  - 悪魔と悪霊は、よみに閉じ込められているが、地上の肉体に伴う罪の性質があり、主を拒む者たちもいる。
    - ➔ 主を拒むものは100歳に満たずに死ぬ。(イザヤ65:20)
  - 残される裁きの痕跡は、**肉体を持って生まれる者たちへの警告**
- …千年後、悪魔が解放され、地上では最後の反乱が起きる。  
悪魔も、よみも死も滅ぼされる。最後の白い御座の裁きが下される。

# イザヤ書全体の構成から学ぶ

前半

■ 罪の告発・間近に迫った裁きの宣告 (1～39章)

回復 ■ バビロン捕囚からの解放 (40～48章)

後半

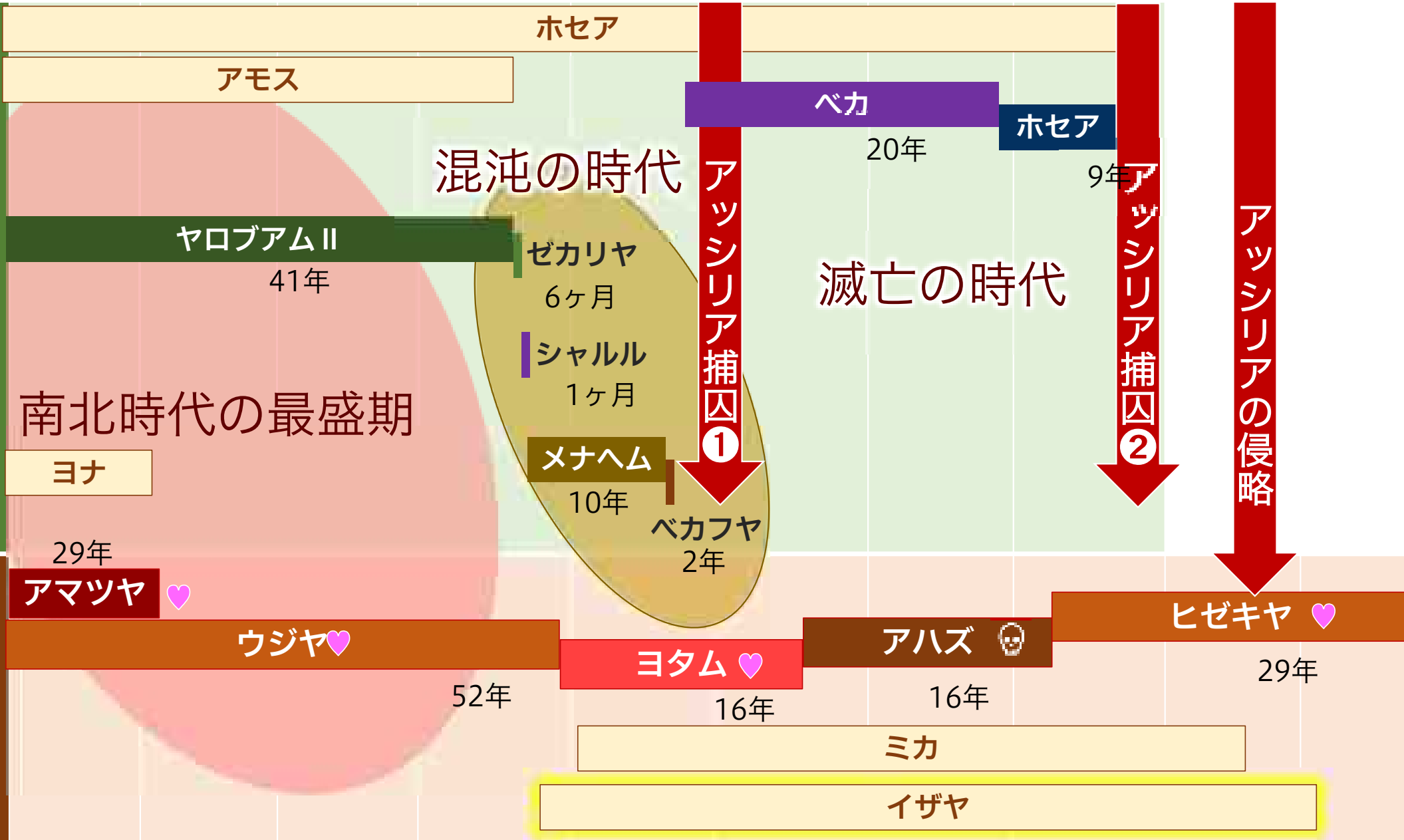
最終的回復 救い ■ メシアによる罪の贖い・救い (49～57章)

最終的回復 神の王国 ■ メシアによる最終的裁き・王国の建設 (58～66章)

**最終節は、裁きの宣告!!**

北王国イスラエル

南王国ユダ



## 66章24節が告げられた背景を思いはかる

- 善王ヒゼキヤの陥った傲慢、差し迫った神の裁き。
  - ➔ 次代・悪王マナセにより、裁きは避けられないものに!!
- 晩年、自身の死も間近な中で、イザヤは40～66章の希望を告げた。
  - ➔ 現実には、ますます破滅に近づいていく南王国の姿が!!
- 預言の目的は二つ、
  - ① 民に悔い改めを促す。➔ 罪の宣告・将来の裁き
  - ② 苦難の中にいる信仰者を励ます。➔ 救いの宣告・将来の希望

まず避けがたくあるのは、救いの前段階である「罪の宣告」

## 信仰的偽善に向き合おう

- 大患難時代は、第一にイスラエルへの最終的裁き。
  - ➔ 最も厳しく裁かれるのは、**イスラエルの不信仰者**
- 不信仰のイスラエルの罪は、**主を知らされながら拒んだこと**。
  - ➔ 神の民とされ、神の法を与えられ、神に導かれながら…
- イザヤが繰り返し責め立てるのは、**イスラエルの信仰的偽善**。
  - ➔ 主イエスが最も厳しく対決したのも、**イスラエルの信仰的偽善**。

**信仰者を装った偽善こそ、厳しい裁きを免れない最も重い罪**

## 偽善者の背後にある「偽りの父」

### ■ 偽善のパリサイ人への主イエスの宣告

「あなたがたは、**悪魔である父**から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと思っています。悪魔は初めから人殺しで、真理に立っていません。彼のうちには真理がないからです。悪魔は、偽りを言うとき、自分の本性から話します。なぜなら彼は**偽り者**、また**偽りの父**だからです。ヨハネ 8:44」

■ 悪魔の本質が、**偽り**。最初の罪も、悪魔の**嘘**が引き起こした。

■ 信仰者を装った**偽善**は、最悪の破滅への道。➡究極が、ユダ

## ただお一人の真実な方の救いの御業

### ■十字架の主イエスの真実 ヨハネ福音書19:34~35

「しかし兵士の一人は、イエスの脇腹を槍で突き刺した。すると、すぐに血と水が出て来た。

これを目撃した者が証ししている。それは、あなたがたも信じるようになるためである。その証しは**真実**であり、その人は自分が**真実**を話していることを知っている。」

■私たちの罪が贖われるには、御子が十字架で死ぬしかなかった。

主イエスは、十字架で死なれ、葬られ、復活された。それが**真実**。



## ★ 偽りを見抜き、真実に立ち続ける力を求めよう ★

■ 世に溢れる、偽りに満ちた信仰者への冒瀆に惑わされるな。  
自分自身が**真実**に堅く立てば、自ずと真贋は明らかにされる。  
裁きの宣告からも目を逸らさず、**御言葉の真実**に立ち続けよう。

■ 信仰的偽善の通用しない、**顔と顔を合わせた交わり**に身を置こう。  
何より私を謙遜にさせてくれる、**福音宣教の困難な道**を歩もう。

■ 信仰者には世にあっては苦難があるが、**試練の道**に主が伴われる。  
約束された報いが力となるように、**御言葉の理解**を深めていこう。

**打ち砕かれつつ、へりくだり、真実の主の道を歩んでいこう!!**

てん とう つみ  
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ  
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ  
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

しゅ しんじつ かた すく えいえん  
主よ。あなたは真実の方です。あなたの救いは永遠です。

あくま いつわ しんじつ みち あゆ もの さいな  
悪魔は、偽りで、真実の道を歩む者を苛め、あざけります。

わたし ところ う くだ しんり いわ た つづ  
どうか、私の心を打ち砕き、真理の岩に立たせ続けてください。

しんじつ おう こ へいわ ひ ま のぞ  
真実の王が来られ、まことの平和をもたらされる日を待ち望みます。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」